

第 1 回 行財政改革懇談会 会議録

1. 開催日時 平成 27 年 6 月 3 日（水）午後 3 時 30 分～午後 5 時 30 分
2. 開催場所 豊橋市役所政策会議室（東館 4 階）
3. 出席者 委員 11 名 《天野委員、伊藤委員、大久保（守）委員、大久保（裕）委員、梶川委員、功刀委員、木暮委員、鈴木委員、諏訪委員、富田委員、村松委員》
豊橋市 13 名 《佐原市長、堀内副市長、野尻総務部長、鈴木財務部長、広田企画部長、木和田行政課長、古池人事課長、牧野財政課長、稲田政策企画課長、小林行政課主幹、野中行政課長補佐、佐藤人事課専門員、前田財政課長補佐》
4. 欠席者 石原委員、世羅委員
5. 傍聴者 0 名
6. 会議概要 以下のとおり

H27.6.3 午後3時30分より

| 発言者 | 要 旨 |
|---------------|---|
| 事務局 (行政課長) | <p>《 1 . 開会》 《 2 . 委嘱状の交付》</p> <p>それでは、はじめに市長より一言ご挨拶申し上げます。</p> |
| 佐原市長 | <p>皆さん、こんにちは。今日は新たな行財政改革プランにおける行財政改革懇談会を開くにあたり、事前に略式ではございますが、委員の委嘱を快く受けていただき、厚く感謝申し上げます。</p> <p>今回新たに当懇談会にトヨタ自動車の木暮様、経済界からは前回に引き続きまして大久保様、自治連合会からは天野様、学識経験者からは関西学院大学の石原先生をはじめ、現計画行財政改革プラン検証委員の皆様にもご指導お願い申しあげまして、快くお引き受けくださいました。これから皆様には大変お世話になりますがどうぞよろしくお願い申し上げます。</p> <p>そして、公募委員のお二人には、抽選によりご就任をお願いいたしましたが、応募の際には、豊橋の将来に対する思いやご自身の経験を本市の行財政改革に生かしたいといった応募動機をいただいております、懇談会の中で、是非心臆することなくご参加いただけたら嬉しく思います。</p> |

| 発言者 | 要 旨 |
|------|---|
| 佐原市長 | <p>さて、そんな中で本市の状況でございますが、歳入、要するに収入について、アベノミクス等々で多少なりとも企業業績が上向いてきています。ただ、市の収入となるのは1年おいてとなりますので、2年前の数字がベースとなります。したがって、今年の収入が今年に結びつく訳ではございませんので、2年前の少し良くなってきたかなという状況の中の27年度の財政であり28、29年度は、去年、今年あたりの景気の動向が反映されます。</p> <p>もう一方で歳出の方となりますと、一つは少子高齢化に伴う介護保険などの増加があります。今後、生産年齢人口が減ることですので、景気が良く、多くの人所得が増えて税金を払ってくださったとしても、生産年齢人口が減っているということは明らかなマイナス要因です。</p> <p>また、わたくしども市役所では禁煙を勧めているところですが、それによりたばこ税は確実に減っていきます。豊橋市のレベルで毎年2億円程度の減収で、億の単位で減るということは大きな影響があります。10年20年先を見込めば健康増進というかたちで、保険事業等々でいずれどこかでリターンは得られるわけですが、ここ1年2年でと考えると頭が痛い問題で、このようなことは多くあります。</p> <p>公共交通機関など、日本ではヨーロッパに比べて格段に安く提供されているのですが、ヨーロッパは高い料金でも乗るという社会的な認識があります。ヨーロッパは公共交通機関の整備が進んでいるため、料金、社会構造と関係なく「路面電車もバスもこんなにあって便利でしょう。」と言われますが、日本の料金で運営できるかという非常に難しいでしょう。わかりやすく言うと豊橋の市電は300万人を達成したと喜んでいますが、それでは市電で年間売上がどれだけあるかといいますと、300万人が全員満額の150円払ってくださったとしても4億5000万円です。実際にはお子様もいます。定期の方も割引で利用している方もいます。そのため、おそらく3億数千万円の年収で、鉄道事業、路面電車事業をすることは、5.4キロのインフラも車両も人件費もメンテナンス費も償却も維持する、とても大変なことを一生懸命やっている事業なのです。しかし、なかなか一般の方々には分かっていただけない事業なのです。市の</p> |

| 発言者 | 要 旨 |
|---------------|---|
| 佐原市長 | <p>行政も物事を数字で示せないのですが、実は意外なところで多額のコストがかかる、やらなければならないのになぜ手を出さないのかといわれるところで、なかなか踏み切れない高いハードルがあり、頭の痛い問題が色々な場面で実はあるのです。委員の皆様方に、我々もなるべく数字をもって表わし、必要なものは法律がどのようにかみ合うかなど色々なことをお示ししながら、ご理解いただく中で一番良い答えを、経験の中から引き出していただけたら大変嬉しく思います。</p> <p>それから、奇しくも今年は地方創生元年と呼ばれている年があります。地域で一つずつ積み重ねる、またこの大きな地域だからできる取組など様々なかたちがあるかと思いますが、是非そのようなことも念頭に入れていただいて、この豊橋だけということではなく、できることならば東三河全体、場合によっては三遠南信という地域も踏まえて、子の代、孫の代にも豊橋で暮らしてよかったなと思える、子どもも孫もここで暮らしていけるぞと思えるまちづくりをしていきたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます、挨拶とさせていただきます。</p> |
| 事務局 (行政課長) | <p>次に、本日は初めての懇談会でございますので、<u>次第の4</u>といたしまして委員の皆様のご紹介と市の職員を紹介させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>大変恐縮ではございますが、各委員におかれましては、自己紹介という格好でお願いします。</p> <p>本日、配席図と名簿を用意しております。お名前等につきましては名簿をご参照いただきたいと思います。なお、自己紹介の順番は大変恐縮ですが、座席順でお願いいたします。</p> <p>《委員自己紹介》</p> <p>続きまして、事務局である職員の紹介をさせていただきます。</p> <p>《職員紹介》</p> <p>なお、大変申し訳ございませんが、市長は所用のため本日は、これにて退席させていただきます。</p> |

| 発言者 | 要 旨 |
|----------------|---|
| 事務局 (行政課長) | <p>それでは、議事に入りたいと思います。</p> <p><u>次第の5</u>でございます。本日は、第1回目の懇談会ですので、まずは事務局より<u>行財政改革懇談会</u>について説明いたします。</p> |
| 事務局 (行政課主幹) | <p>《豊橋市行財政改革懇談会の説明》</p> |
| 事務局 (行政課長) | <p>ただいまの説明につきまして、ご質問はございますか。</p> <p>《質問なし》</p> <p>質問がないようですので、本日の<u>議事の(2) 懇談会の会長の選任</u>を行いたいと思いますが、先ほど説明させていただきましたお手元の設置要綱の第3条第1項にありますとおり、会長は委員の互選により選出することとなっておりますので、どなたかご発言をお願いします。</p> |
| 委員 | <p>本日は、急用のため懇談会を欠席されておられますが、総務省の地方行財政検討会議構成員を務められ、現行財政改革プラン外部検証委員会の委員長であられる、石原俊彦さんが最も適任だと思いますので、推薦します。</p> |
| 事務局 (行政課長) | <p>伊藤委員から石原俊彦委員を推薦というご発言がありました。が、いかがでしょうか。</p> <p>《異議なし》</p> <p>ご異議がないようですので、会長は石原俊彦委員に決定します。本来はここからの進行は、会長の石原委員にお願いするところですが、欠席されているため、私、木和田が副会長の指名まで進行を務めさせていただきます。</p> <p>それでは、続いて<u>議事の(3) 副会長の指名</u>を行います。設置要綱第3条第1項にありますように、副会長は会長の指名によることとなっております。私から石原委員が会長になった場合の副会長の指名について確認しております。石原会長からは、副会長として地元愛知大学の教授であり、現行財政改革プラン外部検証委員であられる、功刀由紀子委員を指名させていただきたいとのことでした。</p> <p>皆さまいかがでしょうか。</p> |

| 発言者 | 要 旨 |
|---|--|
| 事務局 (行政課長) | <p>《異議なし》</p> <p>それでは、ここからの進行は会長を補佐される功刀副会長にお願いしたいと思います。</p> |
| 副会長 | <p>よろしく申し上げます。</p> <p>それでは、続いて、<u>議事の（４）これまでの行財政改革の取組みについての説明</u>を事務局からお願いします。</p> |
| 事務局 資料1、2（行政課主幹） 資料3（財政課長） 資料4（人事課長） | <p>それでは、お配りしましたお手元の資料とパワーポイントを使いましてご説明させていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊橋市行財政改革プランの取組と現状（資料1、2） ・豊橋市の財政状況（資料3） ・豊橋市の定員・給与状況（資料4） |
| 副会長 | <p>ありがとうございました。</p> <p>次に、<u>議事の（５）意見交換</u>です。</p> <p>ただいま、事務局から説明がありました。今日は第1回目の開催ですので、ここからは皆様との自由な意見交換会としたいと思います。</p> <p>さきほどの事務局からの説明に対する質問でも結構ですし、豊橋の今後の行財政改革に対するみなさんのご意見でも結構ですので、自由に意見交換してもらいたいと思います。</p> <p>私から一つだけお願いがあります。</p> <p>豊橋の税金を使用して、開催している会ですので、お一人一回は必ず発言していただくようお願いします。</p> |
| 委員 | <p>広報紙に掲載された予算案を見ても、豊橋市は赤字なのか黒字なのか分かりません。もう少し分かりやすい記載にしてください。まずは、豊橋市全体として黒字なのか赤字なのか教えてください。</p> |
| 財政課長 | <p>平成25年度の豊橋市は、全体として黒字でした。</p> |

| 発言者 | 要 旨 |
|------|---|
| 委員 | 非常時に備えるために基金等を含めて、財政的余力はあるのですか。 |
| 財政課長 | 大きく余裕があるとはいえません。 |
| 委員 | <p>様々な見直しをされていると思うが、削っていいところと削れないところとあると思います。赤字であれば市民の我慢が必要でしょうし、多少余裕のある黒字であれば、行政サービスを手厚くすることも必要でしょう。そのような状況をもっと分かりやすく示していただければ、市民も協力できると思います。ゴミの有料化についても、有料化は避けたいと思うが必要と判断できれば市民の協力は得やすいと思います。</p> <p>もっと市民と一緒に市政を行っていくという姿勢を示すことが大切ではないでしょうか。</p> |
| 委員 | 黒字ということですが、公債費として借金はどのように考えますか。 |
| 財政課長 | 一般的に建物等を建設する際に、市債として借金をしています。30年など長期にわたり公債費として返済することで、世代間の負担など適正な受益者負担を実現するのに有効と考えています。 |
| 副会長 | 市役所の中では当然と考えられる言葉も専門用語となり市民には分かりづらくなってしまいます。分かりやすさという点は非常に重要と考えます。 |
| 財務部長 | <p>《公債費に関する財政課長説明を補足》</p> <p>より分かりやすい、例えば小学生にもわかるような説明をすることが大切であると認識させていただきました。</p> |
| 委員 | 「豊橋市行財政改革プランの取組と現状（資料1）」に水道事業において資金不足額なしと記載されています。今後、水道のインフラ事業にお金がかかることが想定されますが、資金の見通しについてお伺いしたい。また、病院の職員数が増えています。この中で看護師の募集人員は、毎年100人程度と非常に多いことを広報紙等で把握していますが、その割に職員数が増えていないのは何故かお伺いしたい。 |

| 発言者 | 要 旨 |
|------|---|
| 財政課長 | 資金については、見通しを立てて今後も借入を計画的に行うなどしていきますので、当面の財政運営に大きな支障はないと考えています。 |
| 副市長 | <p>企業会計は使用料収益を基本に経営しています。水道に関しては、インフラの更新を行っても、先 10 年は財政的に良好な経営が行える想定です。そのようなこともあり、豊橋の水道料金は他市と比較し安い状況です。</p> <p>それよりも、一般会計部門で多くの公共インフラを所有しており、その更新のためのお金が、今回の行財政改革の大きなポイントになると考えています。</p> |
| 人事課長 | <p>病院職員数の件ですが、基本的に看護師数が足りていないという認識を持っており、多くの職員を募集しています。</p> <p>普通会計に占める職員数について（平成 25 年度）、人口 1 万人あたりの職員数を豊橋と同じ全国 42 市の中核市内で比較すると 3 番目に少ない状態となっています。</p> |
| 委員 | 広域事業について走り始めました。その部分を含めて、行財政改革を考えていくことが必要でありまして、重要な視点になると考えられます。 |
| 企画部長 | 4 月から広域連合が動き始め、実施可能な共同事業については既に開始しています。また、3 年後を目途に介護保険の統合を目指している状況です。基本的な考えとして、東三河があり、その中の構成員が豊橋であるという視点で考えており、豊橋のみがよくなることを中心としているのではなく、東三河全体がよくなることを前提に考えています。 |
| 委員 | こども未来部が創設されたが、今後どのような施策を考えているか伺いたい。フランスであれば教育費が無料、3 人以上の場合は税負担を減らすなど対策を行っている。豊橋としてはどのように考えていますか。 |
| 副市長 | <p>人口をいかに減らさないかということが大切な視点である。</p> <p>40 年後、豊橋市の子供の数は今の半数になると想定しています。それに対してどうしたらいいかは、働く場所を作る、女性の働きやすい環境を作るといったことがあげられるが、言うのは簡単です。</p> <p>フランスの例もあるが、消費税など日本と比較し負担はどのようになっているのか全体をみて考える必要があり、必死にその</p> |

| 発言者 | 要 旨 |
|------|---|
| 副市長 | 施策について考えています。 |
| 委員 | 2～3人出産している方は大勢いるという認識である。しかし、子供を産まない方もおり、そういった現実を見ていただき、今後考えていただきたい。 |
| 委員 | 「豊橋市行財政改革プランの取組と現状（資料1）」に記載されている実質公債費比率などの見方について再度説明を希望する。また、本日説明いただいた現行財政改革プランの外部検証委員の任期について教えていただきたい。 |
| 財政課長 | 実質公債費比率は、基本的には低い方がよいといえます。将来負担比率、経常収支比率についても同様です。 |
| 委員 | <p>豊橋市の財政は全国平均からいけば非常にいいと考えている。ただし、それは他市との比較であって国を含めた自治体は危機的状況にあるともいえる。それを市民の方がどう考えるかが重要である。</p> <p>今後人口が減り、収入より支出が圧倒的に増えていく状況で豊橋市は協働も積極的に取組んでいる。</p> <p>また、施設等の維持費という点において学校を減らすという考え方もあるが、地域の市民が反対することが十分に考えられる。市民と行政でざっくばらんに話し合っていくことも必要ではないでしょうか。</p> <p>また、収入確保についてどのように考えているかもお伺いしたい。</p> |
| 副市長 | <p>サービスを膨らますのは簡単であるが、縮小させることは非常に困難と考えています。しかし、先送りできない状況と考えています。この先、市民との協働について、さらに考える必要があります。</p> <p>収入を増やすことについては非常に難しいと考えています。値段をあげること、税額をあげることは法律など様々な観点から困難であり、細かいものを取りあげて、ひとつずつやっていくしかないのではないかと考えています。また、税金等の支払いがきちんとされることが大切と考えています。</p> |
| 委員 | 貴重なデータを拝見させていただきありがとうございました。私が興味深く思ったことで2点ほど挙げたいと思います。資料 |

| 発言者 | 要 旨 |
|------|---|
| 委員 | <p>3 の中にある一般会計歳入を確認すると、市税が収入として非常に安定していると思います。リーマンショックなどにより、トヨタ自動車は赤字会社に転落した後、田原市に法人市民税が払えない年が続きました。その結果、田原市の財政がかなり厳しい状況となったと思われます。一方で 27 年度になり多くの税を収めることができるようになり、田原市の財政収入が跳ね上がるという現象になりました。</p> <p>言いたいこととしては、中核市の法人市民税の平均が 8% 台となるとと思いますが、今後 23 号線や港が整っている状況を利用し、さらに企業を誘致し、収入を上げることにつながれるとよいのではないかと思います。</p> <p>2 点目の質問は、資料 4 の人員の減員というところでございます。トヨタ自動車もカイゼンをしながら人を減らしながらも生産性を上げていくということをやっているのですが、豊橋市においては 22 年度の 2224 人からスタートして減員の部分だけを見るとこれまでで 266 人と実質 13%、年間 2.6% ずつ減っていると思うのですが、これだけ減ると市民から少しサービスが落ちたのではないかなどの意見が出たりしないのでしょうか。我々も 1% 人を削るためには注意して品質を落とすことなく意識してやっているものですから、参考になればと思ってお聞かせいただければと思います。以上 2 点でございます。</p> |
| 財政課長 | <p>豊橋市の特徴として、田原市のトヨタ自動車のような大企業でないかわりに、バランス良く色々な企業があることがリーマンショックなどの際には強みかも知れませんが、もう一つ思ったのが、田原市の状況を十分には知りませんが、リーマンショック時におそらく財政調整基金を多く使っているかと思えます。豊橋市でも財政調整基金を取り崩し、少なくなってきたおりましたが、そうした際の基金の必要性を強く思いました。</p> <p>これから法人収入が増えていくと良いと思うとありましたが、全くそのとおりで、資料を見ていただくと固定資産税というのは一定の割合でずっと確保できておりますので、市税を増やそうと思ったらやはり法人市民税が一番大きいと思いますので、そのような意味でも産業等、企業誘致等も含めて増えていくと良いと思っております。</p> |

| 発言者 | 要 旨 |
|------|---|
| 委員 | この法人市民税 8%という数字は人口 30～40 万人都市という面でみると、どのように考えられますか。 |
| 副市長 | 市税の構成は都市の形態によってかなり違います。豊橋というのは農業、商業、工業が平均的にあり、どちらかというとな農業の割合が高い状況です。630 億の税金がありながら、法人市民税が 60 億、10 分の 1 もない状況で低い方だと思います。23 号線バイパスもありますので、新しい企業誘致等取組むべきことがあります。 |
| 副会長 | 先ほど市民サービスが低下しているのではないかとありましたがそのあたりはどうでしょうか。 |
| 人事課長 | その対策として主に 2 つほどありまして、一つは業務改善です。年間 200 件ほどあると思うのですが、窓口サービス向上など業務改善を職員提案というかたちで行っております。もう一つは非常勤職員といいまして、正規職員でなくとも行える定型業務を主として行う嘱託職員や定年で退職した職員が再任用というかたちで市役所に残って、行政で得た知識や経験を活かして、サービスを落とさないよう業務にあたってもらっています。平成 26 年度では嘱託職員が 390 名程、再任用職員が 140 名程と正規職員に代わるマンパワーとして補充しております。 |
| 総務部長 | 先ほど市民協働という言葉がでましたが、例えば市民による公園の管理など、市民と作り上げていくことが重要だと考えております。 |
| 副会長 | 時間がおしておりますので、最後に委員 F からの外部評価委員がどのような任期となっているかなどのご質問がありましたので、その点を確認させていただきます。 |
| 行政課長 | まず外部評価検証委員というのは、現行の行財政改革プランの進捗管理を行っております。役割としては、市の職員が行った行財政改革プランの進捗状況等を踏まえた内部評価を、外部検証委員の 8 名の方がその進捗具合を中心に、その進捗が実際になされているか、内部評価が適正かなど検証いただいております。次に、任期につきましては 2 年間で委嘱の期間となります。2 年毎に見直しをすることになりますが、この取組期間は 5 年間 |

| 発言者 | 要 旨 |
|---------------|--|
| 行政課長 | であるため、5年間継続してみていただくことが、より取組内容、経緯などについて把握いただけたらと考え、5年間お願いいたしました。 |
| 副会長 | それでは、最後となりますが <u>議事の（6）次回開催日程</u> について決めたいと思います。事務局から候補日の提案をお願いします。 |
| 事務局 (行政課長) | 次回は8月25日（火曜日）の午後3時30分からを候補としております。 |
| 副会長 | <p>事務局より8月25日（火曜日）の午後3時30分という案が出ましたが、いかがでしょうか。</p> <p>《異議なし》</p> <p>それでは、8月25日（火曜日）の午後3時30分からということで、お願いします。</p> <p>次回につきましては、現行財政改革プランの総括と新たな行財政改革プランの骨子について、事務局から提示があるかと思えますので、それについて意見交換や質疑応答を行いたいと思います。</p> <p>それでは、これで本日の懇談会を終了いたします。 ありがとうございました。</p> |